

「出張タウンミーティング(子育て関連)」

日時：8月5日(土)正午から午後0時45分まで

1 話したいことが2点ある。1点目は、墨田区は比較的子育てしやすいと感じていること。2点目は、ホームページが見にくいこと。検索したい情報がなかなか探せないのもっと見やすくしてほしい。

区長：子育てについては、これからも皆さんの期待に応えていけるよう取り組んでいく。ホームページに関しては、昨年リニューアルさせてもらった。リニューアル後、見たい情報が探しづらい等様々な意見をいただいているところである。今後も皆様から意見をいただいて、見やすくしていきたい。

2 1点目は要望で、共働きをしていて、なかなか平日に役所に行けないため、土・日も開庁してほしい。

2点目は、質問で「認定こども園」をどういった趣旨で進めているのか、行政側にどういうメリットがあるのか、その背景を教えてください。認定こども園化には問題意識を持っていて、保育士の質が落ちるのではないかと、今までは受けられたサービスが受けられなくなり、サービスの低下に繋がるのではないかと、といった不安を感じている。今後、どういう計画なのかもホームページでもわかりやすく情報を公開してもらいたい。

区長：休日窓口として、毎回ではないが、土・日については対応している。ただ利用者が非常に多く、何らかの改善の余地はあると思っている。今後、ホームページの件も含めて、皆様のニーズを見ながら対応を検討していきたい。

「認定こども園」は計画通り進んでいて、現在も移行している最中であり、今後も、年に2園ずつ認定していく。認定こども園化については、皆様の不安を払しょくするため、改めてホームページ等でもわかりやすく説明していきたい。

3 うちの子どもは、「そらまめ保育園」に申込みしたが、入園できなかった。保育コンシェルジュによると、広さはあるのだが、保育士の人数が不足しているため、定員数が増やせないとのこと。保育士がもっといれば、預かれる人数も多くなると思う。区の保育士を増やす取組を行っているのか。

区長：今年度は待機児童対策として、全部で770名分の定員数を増やす予定。保育士の待遇面の改善や寮を造るのに必要な補助の取組を行っているが、23区で保育園を急速に増やしているため、現実的に保育士は足りていない。保育士の数を増やすことも重要だが、安全な保育、事故を起こさないような保育の質も求めていかなければならない。

4 子どもが再来年から小学校に通うことになる。区内の小学校で制服を導入している小学校が2校のみなので、もう少し増やしてほしい。うちの学区だと、区の制服のある学校は選べない。台東区では、ほとんどの学校で制服を導入し

ていて、羨ましい。

区長：2校のみの認識はなかった。校長の判断や地域性もあり、現状に至っていると思う。制服がいいと思う方、自由な服装がいいと思う方などそれぞれの考え方がある。事例をあげると、創立100周年記念として、地域の方の寄付や学校予算で帽子だけはお揃いのものを作った小学校もある。ぜひ、地域の声をまとめて学校に寄せてほしい。判断するのは、教育委員会が各学校ということになるが、PTAの皆さんを中心に「制服を作ろうよ運動」など、地域を巻き込んだ運動を起こすのもいいのではないか。

5 墨田区の子育て施策の「イチオシ」を教えてください。

区長：まずは、「両国子育て広場」を改修する。現在は仮設を設置して迷惑をかけているが、東京2020オリンピック・パラリンピック開催前には、7階建のホテルが建設され、1階に最新式の「両国子育て広場」が入る。目の前には舟乗り場ができる。

また、家庭センターは、解体して保育園にする予定である。隣接する日進公園は、皆様の意見をうかがいながら、子育てができる公園にしたいと考えている。公園と併設の保育園にしたい。議会からも複合施設にしてはどうかとの話も出ているので、今後検討したいと思う。

京成線の曳舟駅の高架下には、「子ども未来館」を建設し、あと1年くらいでの完成を予定している。子どもたちが遊びやすい施設になる。

待機児童については、今年148名の待機児童が出てしまった。この会場にも入園できなかった方もいるかもしれない。年度内に定員枠を270名分追加確保し、来年4月にさらに500名分を確保する。ニーズが多いため、しっかりと保育園整備に力を入れていく。

6 共働きで二人の子どもを保育園に入れることはできたが、うちの保育園は園庭がなく、窓も開けられない。土・日に区内のプールに連れて行こうにも、利用しづらい。安心・安全で遊べるスペースをつくってほしい。

区長：保育園に園庭がないため、それぞれ公園に遊びに行ったりするなど御苦労があるかと思う。比較的新しくできた保育園などでは、プールのスペースを作ったり、大きい空気を入れたプールを作ったりする所がある一方、なかなか用意できない所があるという話も聞いている。

墨田区の特徴としては、面積あたりの公衆便所の数が138個と多いところである。一方で、緑が少ないという意見もあるため、緑被率という評価もあるので緑被率を上げたい。ボール投げができるような公園やスケボーができる公園を作るべきだというお話もいただいている。子育てに特化した公園を作るべきだという意見もいただいているため、今後、状況を見ながらしっかり検討していきたい。